



## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第86期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

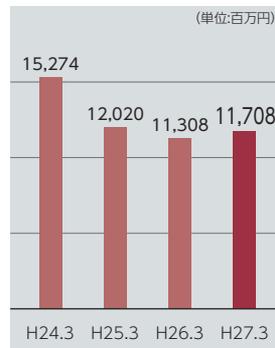
平成27年 6月



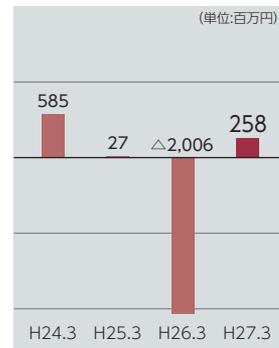
取締役社長 寶角 正明

## 財務ハイライト

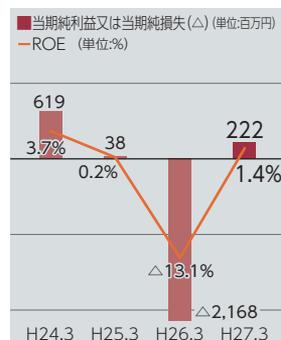
### 売上高



### 経常利益又は経常損失(△)



### 当期純利益又は当期純損失(△)・ROE\*



### 総資産・純資産



# 第86期 株 主 通 信

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

 高田機工株式会社

証券コード: 5923

\*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。

## 当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融緩和継続等を背景に、緩やかな景気回復基調を辿りました。

橋梁事業におきましては、被災地復興関連の発注が本格化すると期待されましたが、前段の工程である下部工の進捗遅れもあり、鋼橋業界の期待する上部工の発注は年度終盤からとなり新設鋼橋の発注量は前事業年度割れとなりました。

鉄構事業では需要は着実に増加したものの、当社が得意とする超高層案件は、「首都圏一極集中」がより鮮明となり、地元である関西圏での案件はきわめて少ない状態が続きました。

このような状況のもとで、当社は前年度の大幅赤字からの脱却に向け、全社員がこれまで以上に利益の確保へのこだわりをもち、営業部門は新規受注だけでなく設計変更増額確保にも努め、生産施工部門は各現場におけるコストの低減を徹底いたしました。この結果、当初の業績予想を若干ながらも上回る営業利益を確保することができ、1年で黒字転換を達成することができました。

売上高	117億8百万円 前期比 3.5%増	↑
	橋梁事業 86億91百万円 前期比13.2%増 鉄構事業 30億17百万円 前期比16.8%減	
経常利益	2億58百万円 前期は20億6百万円の経常損失	↑
当期純利益	2億22百万円 前期は21億68百万円の当期純損失	↑
受注高	143億67百万円 前期比 35.3%増	↑
	橋梁事業 121億98百万円 前期比47.2%増 鉄構事業 21億69百万円 前期比7.0%減	
受注残高	135億86百万円 前期比 24.3%増	↑
	橋梁事業 121億95百万円 前期比40.4%増 鉄構事業 13億90百万円 前期比37.9%減	

## 今後の見通し

橋梁事業では新設鋼橋の発注量は当事業年度並みにとどまると予想されます。地域的には首都圏での発注量が減少し、中部地区以西での発注量が増加すると見込まれます。一方で、保全・中大規模改修工事の発注は徐々に増加すると予想されます。

鉄構事業では秋口までの需要は端境期と見なされますが、秋以降は超高層案件の着工が相次ぎ、需要の上積みが期待されます。地域的には「首都圏一極集中」の形相はさらに強まり東高西低の傾向が継続すると予想されます。

当社にとっては橋梁事業・鉄構事業ともに課題の多い事業環境が継続しますが、平成27年度は「飛躍の年」とし、年度方針[右図]を軸として、全社一丸となり業績の拡大に取り組んでまいります。



出典：社内掲示ポスター

## 橋梁事業

### 主な売上工事

東日本高速道路㈱の五霞高架橋・福島ジャンクションランプ橋・高谷ジャンクション橋南、東北地方整備局の今田高架橋、和歌山県の宮井橋・新富田橋



新富田橋その4 (和歌山県)  
(橋長303m 鋼重1,380t)

### 主な受注工事

東日本高速道路㈱の稲荷木橋北・蔵王川橋、関東地方整備局の山崎地区高架橋、千葉県の妙典橋その3

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



## 鉄構事業

### 主な売上工事

大成建設㈱の名古屋駅新ビル、大豊建設㈱の岩国飛行場整備格納庫、日鉄住金物産㈱の久保三丁目西地区再開発計画



新ダイビル (大阪市北区)  
(㈱大林組 当社施工分 鋼重6,350t)

### 主な受注工事

㈱大林組の神綱加古川6号連鑄・Y計画別館、大成建設㈱のレッドウッド佐倉、日鉄住金物産㈱の六本木三丁目東地区

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



## 株式の状況

(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 65,600,000株

発行済株式の総数 22,375,865株

株主数 3,006名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,336	6.06
新日鐵住金株式会社	1,000	4.53
JFEスチール株式会社	915	4.15
株式会社奥村組	888	4.02
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	810	3.67
前尾和男	654	2.96
株式会社紀陽銀行	586	2.65
株式会社三井住友銀行	502	2.27
三井住友信託銀行株式会社	502	2.27
株式会社川金コアテック	500	2.26

(注)持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(334千株)を控除して算出しています。

## 株価/出来高の推移



## 会社概要

(平成27年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 寶角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡

## 役員

(平成27年6月25日現在)

代表取締役社長	寶角 正明
専務取締役執行役員	谷 俊寛
常務取締役執行役員	嶋崎 哲太
常務取締役執行役員	梶 義明
取締役執行役員	高橋 裕
取締役執行役員	小林 雄紀
社外取締役	川谷 充郎
執行役員	今成正一
執行役員	蔭山 昌弘
執行役員	坂根 潤一
常勤監査役	坂田 友良
社外監査役	桑原 豊
社外監査役	山中 俊廣

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.takadakiko.com/">http://www.takadakiko.com/</a> ) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載

## 住所変更、配当金のお受け取り方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増

株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。  
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 表紙写真

上:高須賀第1高架橋(茨城県 橋長330m) 工場にて一括仮組  
左中:福島ジャンクションランプ橋(福島県) 夜間一括架設  
左下:新富田橋その4(和歌山県 橋長303m) 送り出し架設  
右下:名古屋駅新ビル(大成建設・鹿島建設JV 当社施工分3,300t)

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

UD  
FONT